

謹賀新年

IFCCは、活動開始して32年目を迎えることになりました。ここまで至ることが出来たことを、皆様のご賛同ご協力のおかげと感謝申し上げます。

「銃口を向け合わない友人知人を国境を越えて思い浮かべる。交流を」めざし、これまで多くの分野で国際交流を行ってきました。事実を覆い隠し意図的あるいは無意識に忘れ去った「歴史」が「今」覆っています。今年も可能なかぎり、「忘却に抗(あらが)い」「流されず」活動を継続していきたいと思えます。

キューバ連帯活動は、24年を経ました。キューバの“特別期”(東欧社会主義崩壊に伴うキューバ経済困窮期)の1994年に連帯の旗を掲げ日本キューバ連帯委員会(CUBAPON)を立ち上げてきました。10周年、20周年とその都度記念の行事を行い活動の足跡を確かめてきましたが、連帯の旗を掲げ続ける必要性は今さらに高まっているかのようです。

オバマ衆国大統領の訪問を受け期待された国交回復でしたが、トランプ政権の誕生で正常化どころか停止したような状態です。しかし、キューバは次の社会建設に向け、着実に歩んでいます。

- ・「革命の継続と変革」を掲げ“キューバに合った社会主義”を具体化するための**憲法改正**が2018年に全国討議され、人民権力全国会議(国会)は2018年12月22日草案を採択しました。今後、2月24日国民投票での可否を経て、4月29日発布、その後関連法案整備となります。
- ・こうしたキューバの動きの渦中、CUBAPONの21回友好訪問団が催行されました。近日発行の報告書『経済封鎖下のカリブの社会主義XX号』でキューバの“今”を映し出していきます。
- ・**革命60年**を迎えた2019年秋、**第22回友好訪問団を計画**中です。ご参加をお待ちいたします。
※詳細はCUBAPON会報・次号(2月ごろ)でご案内。報告書、会報ご希望の場合はご連絡ください。
- ・CUBAPONはまたベネズエラ、ニカラグアで起きていることを今年も継続して注視していきます。日本に溢れるアメリカ経由の情報の多くは真相を伝えていません。ベネズエラ、ニカラグアでのアメリカによる策動は現体制転覆が狙いだからです。キューバ社会主義の存続は**ベネズエラ、ニカラグアの存続**と伴にあります。



第5回キューバ友好の集い(12月2日)でCUBAPONはキューバ大使より**感謝状**を頂いた。左からカルロス・M・ペレイラ駐日大使、鎌田CUBAPON事務局長、5人の英雄の一人ヘラルド・エルナンデス氏、フィデルの息子のイデルアントニオ・カストロ・ソトデルバジュ博士。ちなみにCUBAPONは2008年6月17日、当時の国家評議会議長ラウル・カストロ・ルス署名のキューバ共和国国家評議会『連帯大勲章』を授与されています。

ベトナムとの友好活動の中心となっている日本ベトナム平和友好連絡会議(JVPF)が結成されて今年で19年を迎えます。

また、IFCCが1996年から始めた枯葉剤被害者支援とそのためベトナム民族アンサンブルチャリティコンサートは昨年(2018年)で23年を数え、協賛・協力頂いた方々は延べ**183,000人**に上ります。

その間、タイビン省・障害者リハビリ施設開設、ホーチミン市に村山記念JVPF日本語学校開校、少数民族学生奨学金、友好マラソン、生花デモンストラーション、枯れ葉剤被害者追跡映像記録DVD製作、各地の障害者慰問と施設寄付が続けられました。

- ・村山記念JVPF日本語学校は12年目を迎え次の活動に入り、近年は毎年20人程度の日本への留学生を派遣してきました。
- ・23年目となった昨年のベトナムアンサンブルチャリティーコンサートは、『**わたしの体の中では戦争が終っていない**』という枯れ葉剤爆弾被害者の叫びを受けとめ、“忘却に抗(あらが)う”活動を続けてきています。
- ・**少数民族出身学生奨学金**をハザン省、ラムドン省、クアンチ省で継続中です。
※JVPFは会報「ホアビン・レポート」で活動紹介しています。是非、活動にご参加ください。



鎌田篤則JVPF副理事長は、2018年8月31日、東京で駐日ベトナム大使グエン・クオック・クオン特命全権大使よりTran Dai Quang国家主席署名のベトナム国「**友好勲章**」を手渡された。IFCCはJVPFの結成に先立ち1996年から枯葉剤被害者支援を行ってきておりこの23年間183,000人と共有してきた“忘却への抗い”へ対するもの。

日中友好の緑化植林活動は、中国寧夏回族自治区と河北省唐山市（遷西県）、内モンゴル多倫県で実施し、16年間（足掛け17年間）続けてきています。2015年から寧夏回族自治区固原市の沙漠と、内モンゴル多倫県の2ヶ所で実施してきた活動は第五期（2018年11月～2019年10月）に入りました。「**初心を継続！植林活動と交流が、友好という大河の一滴となるように**」続けています。この活動は日中緑化交流基金の助成を得て実施されているため残された期間は2年間となりました。

※今年度の緑化植林派遣団にご参加を呼びかけます。

平和の旅中国での「侵略を記憶し語り継ぐ平和の旅」はIFCCが発起して続けられてきましたが、2011年の20回目（20年）の旅をもって一端区切りがつけられました。

2015年の戦争終結70周年にあたり、これまでの平和の旅の足跡を問う為、IFCC又市征治会長の発起をいただき『村山談話を継承し、2015年を日中友好年とする訪問団』を実施。2016年から「**村山談話を継承する平和の旅**」として継続。2015年から2017年に訪問したところは南京大虐殺惨案、河北・三光作戦惨案、北京・盧溝橋事件、ハルピン・731細菌部隊跡、瀋陽9・18事変跡、撫順・平頂山虐殺事件跡を視察調査し、昨年の2018年は**重慶・無差別爆撃惨案、杭州・細菌兵器実践惨案跡**などを視察調査してきました。忘却に抗（あらが）うために。

ちなみに**三光作戦とは焼光（焼き尽くす）・殺光（殺し尽くす）・搶光（そうこう）（奪い尽くす）**からきている作戦を指します。

今年も第五次・村山談話を継承する平和の旅を計画中です。

※第四次・報告書を頒布中（350円 送料込）

また、アウシュビッツを訪ねる旅もサポートしてきています。（鎌田）



好評発売中 入賞した枯れ葉剤被害者追跡映像『トアとトウオン』

～IFCC企画・協賛及び旅行社アイエフシーの手配ツアー紹介～

●**JVPF ベトナム訪問～秘境ハザンで奨学金支援、枯れ葉剤被害者慰問～**

1月11日～16日 企画：JVPF
内容：ハザン省少数民族学生奨学金贈呈式、ハザン・タイビン・ナンティン枯葉剤被害者支援慰問など

●**ラムドン省少数民族学生奨学金贈呈式訪問**

1月24日～28日 企画：鹿児島 JVPF
内容：ラムドン奨学金贈呈式、カインホア枯葉剤被害者調査慰問

●**KCC キューバ教育視察**

4月21日～4月30日 企画：キューバ教育研究会
内容：キューバ教育視察など

●**中国・寧夏回族自治区固原市で緑化植林活動**

5月9日（予定）～ 企画：IFCC
※参加者募集 詳細はお問い合わせください。

●**キューバ訪問（仮称・準備中）**

5月22日～29日 企画：同事務局

●**中国・内モンゴル／植林と草原の風にふれる旅**

7月25日より（予）企画：NPO アジアンロード
※参加者募集 詳細はお問い合わせください。

●**第五次・村山談話を継承する平和の旅（中国訪問）**

2019年下期検討中 企画：同企画委員会
※詳細はお問い合わせください。

●**2019秋キューバ革命60周年記念友好訪問団（準備中）**

11月下旬予定 企画：CUBAPON

Tour Operator **アイエフシー**

旅アラカルト（2019年1月）

★2019年春 “アジアが熱い” ツアーご紹介（～2019年3月）

※費用はいずれも2人部屋利用の1人様料金

①**ハノイ（全日空/羽田発） 4日間 ￥57,500～**

- ・ホテル代/朝食3回/空港送迎（混乗）が含まれます。
- ・羽田空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・現地空港税は含まれません。

②**台湾 自由自在2泊3日（チャイナエア/成田・羽田発着） ￥47,000～**

- ・ホテル代/朝食2回/空港送迎（混乗）が含まれます。
- ・空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・現地空港税は含まれません。

③**フリー・バンコク2泊3日間（ホテル：バンヤンツリー泊）
（スターアライアンス系航空/成田・羽田発） ￥79,000**

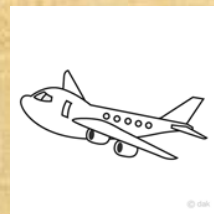
- ・ホテル代/朝食2回/空港送迎（混乗）が含まれます。
- ・空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・現地空港税は含まれません。

④**充実スリランカ3泊5日間（観光+送迎+全食付）（スリランカ航空/成田発） ￥132,000～**

- ・ホテル代/朝食3回昼食3回夕食2回/観光/空港送迎（混乗）が含まれます。
- ・空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・現地空港税及びスリランカ査証代は含まれません。

⑤**夏・シドニー2泊5日間（カンタス航空/羽田発 日本国内接続可） ￥122,000～**

- ・日本国内線接続/大阪・名古屋・福岡無料、他は￥10,000アップ。
- ・ホテル代/朝食機内2回/空港送迎（混乗）が含まれます。
- ・空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・現地空港税は含まれません。



※キューバ行き航空券160,000円からご案内できます。（～2019年3月、海外諸税別）